

あわら 市議会だより



第51号

平成29年1月13日 発行



12月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	4p
一般質問	7p
行政視察報告	11p
請願・意見書・議会トピックス	13p
討論	14p
議案と結果	15p
ふるさと探訪	16p

越前竹人形 一番鶏
(竹人形職人 山田 信雄)

議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

<http://www.city.awara.lg.jp/gikai/>

第11回 議会報告会を開催しました

10月26日、27日、28日の3日間、市内12会場において第11回議会報告会を開催しました。合計164名の市民の皆様にご来場いただき、9月定例会の審議状況を報告し、参加者との意見交換を行いました。多くのご意見やご要望がありましたので、皆様の声を抜粋して紹介します。



議会報告会(湯のまち公民館)

議員定数について
○議員定数について人口3万人に対して18人は多いのではないか。

政務活動費について
○県内であわら市だけ政務活動費が出ていないことを新聞で初めて知った。
○政務活動費は必要だと思いが、今の議員の活動状況では本当に必要なのか疑問である。また、使い方が課題である。地域の活動には使うべきではなく、調査に関して使うべきである。

議員定数削減を考えているのか。
○議員定数削減を考えているのか。
○一般質問を行っていない議員や4年間のうちに数えるほどしか質問していない議員もいる。また、内容が物足りない。積極的な提案をしたらどうか。
○議会だよりに、テーマを決めて議会での取り組みなどを報告してはどうか。
○議会報告会の参加者が少ない。多くの市民に参加してもらえよう工夫したらどうか。より広報に力を入れて多くの参加者を集めてほしい。

観月スタンプについて
○通行止めによって、当区間に住む市民は大変不便になった。
○シャトルバスの運行ルートが変わり、以前より不便になった。
○打ち上げ花火について、有料席にしたことで観客数が減少したのではないかと。
○文化的要素がない。

地域要望
○文化的要素がない。
○ハクビシンが住宅内外に出没していると聞いたが、市が対応してくれるのか。
○空き家のハクビシン等の対応について、檻の貸し出しはどうなっているのか。
○イノシシは、固定柵により侵入を防ぐのではなく、個体数を減少させる対策を考えてほしい。また、捕獲したイノシシをジビエとして再利用できないか。

鳥獣対策について
○ハクビシンが住宅内外に出没していると聞いたが、市が対応してくれるのか。
○空き家のハクビシン等の対応について、檻の貸し出しはどうなっているのか。
○イノシシは、固定柵により侵入を防ぐのではなく、個体数を減少させる対策を考えてほしい。また、捕獲したイノシシをジビエとして再利用できないか。

市道について
○竹島印刷前の市道、国道305号から入るところが低く、嵩上げしてほしい。また、その先の橋の拡張をお願いしたい。
○市道瓜生後山線の南側の法面が崩壊しているので対応してほしい。

休校の活用について
○休校の活用を検討してほしい。
○地元相談がない。
○スマイルフェスタを実施し、2日間で6千人の来場があった。このようなイベントは継続してほしい。
○地域の核となる施設にしてほしい。

その他
○北陸新幹線の整備状況等を地元で説明してほしい。
○各種まちづくり事業を決める前に地元と相談してほしい。
○人口減少対策をしっかりとしてほしい。
○健康長寿祭は、各地区、又は、各公民館単位で実施してほしい。
○福井国体で、北潟湖畔公園がカーニバル競技会場となるが、観覧席やトイレはどうなるのか。

その他
○北陸新幹線の整備状況等を地元で説明してほしい。
○各種まちづくり事業を決める前に地元と相談してほしい。
○人口減少対策をしっかりとしてほしい。
○健康長寿祭は、各地区、又は、各公民館単位で実施してほしい。
○福井国体で、北潟湖畔公園がカーニバル競技会場となるが、観覧席やトイレはどうなるのか。

その他
○北陸新幹線の整備状況等を地元で説明してほしい。
○各種まちづくり事業を決める前に地元と相談してほしい。
○人口減少対策をしっかりとしてほしい。
○健康長寿祭は、各地区、又は、各公民館単位で実施してほしい。
○福井国体で、北潟湖畔公園がカーニバル競技会場となるが、観覧席やトイレはどうなるのか。



議会報告会(北潟公民館)

12月定例会

平成28年度一般会計補正予算(第4号)

6億26万2千円を増額



- 平成27年度各会計の決算を認定
- 一般会計予算総額は155億3,119万9千円に
- 企業立地助成金等 3億205万円を交付
- 全小学校の空調整備及び金津小学校北西校舎の大規模改修事業を実施

平成28年12月定例会が12月2日から12月21日までの会期で開催されました。今定例会では、9月定例会で決算審査特別委員会に付託された平成27年度の各会計決算の認定に関するもの11議案を認定・可決しました。そして、専決処分の報告に関するもの1議案、補正予算に関するもの7議案、条例制定及び一部改正に関するもの9議案、工事請負変更契約の締結に関するもの1議案の計18議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は8名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。その他、請願1件及び陳情1件を継続審査、請願1件を不採択とし、議員発議による条例の一部改正1件を可決しました。

新年のごあいさつ

議長 坪田 正武

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をご家族おそろいで穏やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は市議会に対し、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。さて、平成35年春に北陸新幹線芦原温泉駅開業を控え、より一層の機運の高まりを感じているところです。昨年末に与党整備新幹線建設PTにおきまして、小浜京都ルートが正式決定されました。本市におきましては、新幹線整備に関するまちづくり事業が着々と進められており、議会としても魅力あるまちづくりに全力を尽くしていきたいと存じます。本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、謹んで年頭のごあいさつといたします。



総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成28年度 一般会計補正予算

■政策課

**ふるさとあわら
サポート寄附金
621万1千円**

委員ふるさと納税の寄附額はいくらを想定しているのか。

理事者当初4千万円を見込んでいましたが、想定以上の寄附が見込まれるため、6千万円に変更

■教育総務課

**小学校施設整備事業
3億549万8千円**

委員 小学校施設整備事業の内容は。

理事者 7小学校の空調設備工事と金津小学校北西校舎の外壁補修、屋根防水、トイレなど大規模改修です。

し、それに伴って、返礼品購入費等を増額するものです。



新郷小学校

小学校適正規模・ 適正配置事業 237万3千円

委員 新郷小学校の休校に伴う記念事業費の算定根拠は何か。

理事者 波松、吉崎小学校のときと同様に、定額20万円に2千円×世帯数を足した額です。

理科教育等設備整備事業 139万4千円

委員 理科教育等設備整備事業の内容は。

理事者 国の補助事業により、2中学校と4小学

校の理科及び数学(算数)の教材備品を整備するものです。

■スポーツ課

**カヌー艇庫建設
5千50万円**

委員 新しいカヌー艇庫の内容は。

理事者 既存の艇庫を取り壊し、新たな艇庫を建設するものです。今までより拡張し、164艇収容できるようにします。

個人所有のカヌーの保管については保管料を負担していただく予定ですが、金額については条例制定の中で検討していきたいと考えています。

あわら市税条例等の一部を改正する条例の制定について

委員 医療費控除の特例制度が新設されたが、い

議案外の件

元勤労青少年ホーム について

市から取り壊すことを提案されましたが、議会の強い意向により、耐震診断をした上で、存続するかどうか検討することになり、このほどの結果が出ました。耐震診断の結果は、5段階のうち最悪のE判定で、存続して利用するためには、耐震補強工事が必要で、床の貼り替え等合わせると概算で約1億4千万円かかるということです。



元勤労青少年ホーム体育館

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況をご覧になれます。

平成28年度 一般会計補正予算

■市民課

**第三者行為求償事務
共同事業委託料分
15万5千円**

委員 第三者行為求償事務とは、どういった事務内容か。またどこに委託するのか。

理事者 第三者行為とは主に交通事故です。国民健康保険の加入者が被害者となった場合、一旦は医療保険が適用され、その医療費は保険者が支払います。その保険者が支払った医療費を加害者に対して請求する事務です。その事務を福井県国民健康保険団体連合会に委託しています。



特定空き家の例

■生活環境課

**空家等対策事業
4万4千円**

委員 空家対策協議会の設置に伴い、当初予算に計上していた報償費を委員報酬とするものであるが、委員数が5名から15名に増えた理由は何か。

理事者 当初の5名は学識経験者や住宅等の専門家を予定していましたが、事業を円滑に行うためには、多くの意見ももらうべきと判断し、関係機関等からも参加してもらうこととしました。

■福祉課

**臨時福祉給付金支給事業
8千285万1千円**

委員 国の補正予算「未来への投資を実現する経済対策」に盛り込まれた簡素な給付措置支給事業に要する経費であり、対象者に2年半分として1万5千円を二括して給付するものです。当事務事業費は全額国庫補助であり、補正計上であるが、平成29年度に繰り越して執行します。

■健康長寿課

**金津雲雀ヶ丘寮経費
3千700万円**

委員 特別養護老人施設棟のボイラー設備の故障と配管の水漏れ等による更新費用であるが、空調設備はどれくらいの容量なのか。

理事者 部屋の大きさに

■建設課

**公営住宅長寿命化
事業
3千733万1千円減額**

委員 国庫補助要望額に対して交付決定が満たなかったことによる減額補正だが、交付決定はいつ来るのか。工事に影響はないのか。

理事者 4月1日に内示があり、あくまでも内示があった分について執行します。今回の減額補正は精算であり、本来精算は3月補正での計上となりますが、今回は金額が大きいため、12月補正に計上しました。

■観光商工課

**企業立地助成金等
3億205万円**

委員 企業立地助成金等は交付期間が決まっているのか、それとも金額が決まっているのか。

理事者 金額によって分割で支払っており、最長6年間となります。

■新幹線推進課

**芦原温泉駅周辺整備
事業
4千150万円減額**

委員 市道105号線に

平成28年度 国民健康保険特別 会計補正予算

3億1千448万8千円

11月までの療養給付費の伸びにより、増額補正を行ったが、今後の療養給付費が前年度上半期並みに落ち着くとの見通しを立てると、現時点で法定外の一般会計繰り入れを回避するとともに、年度末には一定程度の基金残高が見込まれます。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、平成27年度の決算について、「予算が適切に執行されているか」、「その財政執行が本来の行政目的に適合しているか」、「住民負担とその使途が適正かつ効率的に行われているか」などに重点をおいて審査しました。

そして、次年度以降の事業に反映できるように、様々な項目において提案や改善を求めていますので、主な項目のみ掲載します。

■総務課

がすべきである。

職員研修について

自己研鑽はもとより、研修成果や内容を全職員に共有できるようにすべきとの意見があった。また、土木や建築部門において専門職の配置を確保するか、職員に資格を取らせて知識を高めさせるよう指摘した。

■政策課

指定管理者制度

実際の所管は各課になるが、対象となる公共施設が市民の役に立っているか、その有効性についての精査や判断は政策課

歳入について

法人税は今のところ順調に推移しているが、市民税は人口減少と共に税収減と予測される。歳出においては新幹線関連駅周辺整備など大規模事業を控えており、今後は財政が厳しくなることが予想される。単年度だけでなく将来を見据えた財政運営を行うべきである。

■財政課

市民活動サポート助成金

解散の危機がある団体は沢山あるが継続が大事であり一回限りの活動で終わらないようにすべきである。



市民活動サポート助成金の公開プレゼンテーション

■収納推進課

市税について

3年連続現年度分の徴収率が98%を達成していることは評価する。

■市民課

医療費について

医療費を下げるためには、病気の早期発見と早期治療が大切で、人間ドックの効果は高いと考える。受診の機会を増やすように工夫し、周知すること。

■農林水産課

あわら市独自の事業

補助事業が多い中で、あわら市独自の事業である万博茶等の事業は、市民への認知度が低い。もっと周知努力するべきである。

■観光商工課

実行委員会への補助金

各実行委員会に補助金を交付しているが、その用途等について、注視するとともに十分な指導

観光協会について

独自に自主財源確保に努めるよう求める。

■建設課

市道の管理

市道に出ている雑木については、苦情が出る前に予算を付けて伐採するよう指摘した。



市道金津・芦原線

■上下水道課

管の敷設替え計画

管の老朽化による今後の敷設替え計画は、見直しを立て、ある程度の期間的ゆとりと費用も

考慮しながら、進めていくよう求めた。

■会計課

備品管理について

各課でとらえ方に違いがあるので、統一の通知をするともに、備品管理に関する基準を徹底すべきである。また備品廃棄申請があった際は、実際に廃棄物の確認をすることや、台帳の現物確認作業も年一回実施するよう要請した。

■議会事務局

旅費について

加賀市との友好交流議員連盟について、委員から当該議員連盟が要望活動した際の旅費を議会費から支出するのはおかしいのではないかと指摘した。

市政について問う!

12月の定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

■吉田 太一 議員

- あわら市の防災対策について
- JR芦原温泉駅前の活性化及び周辺整備について

■仁佐 一三 議員

- あわら北潟湖畔観月の夕べについて
- 北潟湖の塩害と環境について

■山本 篤 議員

- あわら市・加賀市議会友好交流議員連盟の要望活動について
- 公民館のあり方について
- 広報あわらと広報活動のあり方について

■三上 薫 議員

- Uターンの促進について

■山田 重喜 議員

- 福井国体について
- 道の駅について

■卯目ひろみ 議員

- 婚活事業(縁結び推進事業)について

■平野 時夫 議員

- 大型金属性粗大・小型家電ごみについて
- B型肝炎ワクチン無料化について
- ヘルプカードの導入について

■山川 知一郎 議員

- 子育て支援の強化を
- イノシシ対策について



インターネット中継で一般質問をご覧になれます。



吉田 太一 議員

あわら市の防災対策について

吉田 あわら市の防災に対する準備、備蓄物資の量は人口に対して大丈夫か。避難所の準備はできているか。

総務部長 あわら市避難所運営マニュアルを策定し、全ての行政区に配布しており、備蓄量は県から示されている備蓄基準数量を確保しています。また、全ての指定避難所の耐震化は完了しています。

吉田 県の基準備蓄量は人口に対するものであり、観光客の分は考えているのか。アパートに住む市民の防災に対する周知と訓練はしてい

を行うこと。

るのか。避難所となる施設のうち、拠点となる2カ所の学校だけでも、電気が遮断されても使えるガスを導入すべきでないか。

総務部長 備蓄量の基準数量は観光客の分も考えています。自治会に加入していない市民に対する周知について、市のホームページに記載されているほか、災害時は、広報車や防災無線で知らせます。自助・共助をお願いするものです。

市長 拠点となる2カ所の熱源にガスを導入することに、地元業者への配慮を考えたも、財政的に難しいと考えます。

JR芦原温泉駅前の活性化及び周辺整備について

吉田 駅前の大規模な区画整理をし、そこにビルを建て、1階に商業施設、2階に市民文化会館、3階からビジネス



JR芦原温泉駅前

吉田 あわら市の防災対策については、いくつか提言をした。市として、防災に対してしっかりと取り組んでいただきたい。JR芦原温泉駅前の活性化及び駅周辺整備については、これからも共に議論を進めていきたい。



仁佐 一三 議員

あわら北潟湖畔 観月の夕べについて

仁佐 観光工商課に所管が変わり、何か新しいイベントや試みなどを取り入れたのか。

経済産業部長

今回から「あわら北潟湖畔観光プロジェクト実行委員会」を立ち上げました。新しい企画でキッズバイクレース、親子魚釣り、カヌー体験、音楽コンサート等を行いました。

仁佐 通行規制について

地元では幹線道路を早い時間から広範囲で規制され、不満の声が多い。通行許可証を増やし、早期に配布すべきである。

経済産業部長

交通安全に万全を期すために自家用車での来場を制限したもので、通行許可証の配布時期などの課題は実行委員会で検討します。

仁佐 シャトルバスについて

利用者はどれくらいか。市内一円を運行してはどうか。

経済産業部長

シャトルバスは昨年の4倍にあたる75便を運行し、約3千人に利用されました。市内一円を運行することは、相当数のバスの確保と経費が必要なのでから困難であると考えます。ルートや停留所等は改善すべきところは改善したいと考えています。

仁佐 再び水上ステージの活用を

考えるべきでないか。

経済産業部長

観客と出演者の一体感を重視したことなどから陸上ステージとしましたが、今後

後もステージ内容やキャストなど総合的に考慮しながら北潟湖ならではの演出を含め、実行委員会で検討します。

北潟湖の塩害と環境

仁佐

北潟湖について、昨年からは塩分濃度が異常に高い。今年は赤潮が広範囲に発生し、鮎や鯉が住める環境ではなくなってきた。どのような対策を考えているのか。

市民福祉部理事

上部には淡水層、下部には塩水が入り込み、残留していることや、今年は夏場の降水量が少なかつたこと、さらに、湖の奥部では水に溶け込む酸素の量が少なかつたことから、淡水の魚類に大きな影響がありました。県内外の環境関係機関や大学の研究者とともに、これまで以上に取り組みを強化したいと考えています。

山本 篤 議員



あわら市・加賀市議会 友好交流議員連盟の 要望活動について

山本 議会の要望活動への予算支出は、不適切であったのか。

市長

旅費の支出に関するもので、支出の目的には全く問題はないが、予算要求から執行までの一連の手続きの中で、慎重さを欠く面があつたと反省しています。今後は、細心の注意を払っていきます。

山本 当議会に政務活動費がないことについて

どう思うか。

市長

現在、議会内部で議論がなされていると聞いていますので、その動向を見守りたいと考えています。

公民館のあり方

山本

公民館を「コミュニティ施設」として利用する事の検討はどうなっているのか。

教育長

地域づくりへの意識付けには有意義であると思いますが、どのような事業をどこまでするのか、また企画運営する人材がいらないという課題もあり、地域の活力の格差が更なる地域格差を生むこと是非も問われています。まずは、社会教育の中で公民館が担う文化の振興や健康、社会福祉の増進などを中心に、人材育成にも取り組みながら地域のまちづくりを推進していきます。

山本 福祉政策の中で公民館を利用しているのか。

山本

福祉政策の中で公民館を利用しているのか。

山本

福祉政策の中で公民館を利用しているのか。

山本

福祉政策の中で公民館を利用しているのか。

地域福祉のあり方については、「地域包括ケアシステムの構築」といった観点で極めて重要であると考えています。

山本

コミュニティセンター化を推し進めないのならば、包括ケアシステムの構築等に対し、公民館は関与しないと考えていいのか。

教育長

社会教育施設ではありますが、介護や高齢者に対する分野でも、その地域の公民館が核となって考え、できる事を行っていきます。

山本

山本

ホームページの必要性が高いだけに、もっと閲覧者の事を考えて作成すべきではないか。

総務部長

現在のシステムを活用しながら、これまで以上の情報発信とホームページの充実に努めたいと考えています。

三上 薫 議員



Uターン促進

三上

都市在住のあわら市出身者の帰省時期に合わせて、Uターンに関する資料の配付や、相談窓口の開設、就職相談会の開催などを行うとはどうか。

総務部長

成人式の出席者などに対し、Uターンの意向調査や、就職情報の登録の呼びかけを行っています。

三上

あわら市出身者を対象としたあわら市のファンクラブを立ち上げ、会員への定期的な情報提供や、アンケート調査等を実施してはどうか。

総務部長

平成22年度から、広報あわらメール便及びふるさとあわらサポーター制度を運用しており、現在、1千人余りの皆さんに登録していただいています。これがファンクラブに当たると思っています。

三上

同窓会の開催助成や、民間企業と連携した、大規模な同窓会開催などを実施し、その際、会場で参加者に対し、地元企業やその製品などを紹介することで、地元企業の協賛を得て、会費を値下げし、参加者の増加を図ってはどうか。

総務部長

同様の取り組みは全国各地で行われていることから、今後、先行自治体の状況を調査したいと考えています。



移住フェア「福井暮らしカフェ」

山田 重喜 議員



福井国体について

山田

宿泊体制について、ゴルフ競技はメンタルに影響するため、選手は個室を希望すると考える。どう対応するのか。

教育部長

宿泊における個別の案件として、ゴルフ競技の選手に対してはシングルルームを準備するよう競技団体から要請があり、市外のビジネスホテルを用意する予定となっていますが、単にゴルフ競技の選手を他の市町へ宿泊させるだけではなく、その相応数を他の競技であわら温泉へ配宿するように県に働きかけています。

山田

山田

カヌー競技について、あわら市として選手の競技力向上のための助成金は考えているのか。

教育部長

あわら市として選手の競技力向上のための助成金は考えているのか。

山田

山田

カヌー競技について、あわら市として選手の競技力向上のための助成金は考えているのか。

山田

カヌー競技について、あわら市として選手の競技力向上のための助成金は考えているのか。

山田

カヌー競技について、あわら市として選手の競技力向上のための助成金は考えているのか。

山田

カヌー競技について、あわら市として選手の競技力向上のための助成金は考えているのか。

教育部長

あわら市として、カヌー艇庫の整備のほか、金津高校力又一部等の国体に出場する選手の練習環境について支援を行い、地元選手の活躍に寄与できると考えています。

山田

市道金津・芦原線のトンネル付近について、歩道及び街路灯の整備は考えているのか。

土木部長

大型の土木事業として、新幹線延伸を踏まえた芦原温泉駅周辺整備事業を進めており、事業のピークが今後も続くことから、金津・芦原線を優先して改良することは困難であると考えています。

山田

国体は、あわら市をPRするには絶好の機会であり、どう対応するのか。

道の駅について

山田

あわら市における道の駅の構想と今後の見通しはどうか。

土木部長

道の駅の設置にあたり、類似施設や近隣事業者との競合を避けるなど十分な協議が必要となってきます。公共事業として「道の駅」の整備に取り組むためには、将来の負担にならないよう、慎重な検討が必要と考えています。



福井しあわせ元気国体マスコットはびりゅう



卯目ひろみ 議員

婚活事業(縁結び推進事業)について

卯目 少子高齢化がすすみ、結婚しない若者が増えている。家族にとっても大きな悩みとなっているが、市の縁結び事業はどのように進めているのか。

市民福祉部長 本市における縁結び推進事業の実施状況ですが、2つの事業を開始したところです。

一つは「縁結び活動事業」として、市内の企業や事業所、団体などに縁結び実施団体として登録をいただき、それぞれに配された「縁結びさん」と称する世話役が仲介者となり、企業や団体と

いった枠を超えて、結婚を希望する男女の縁結びに努めてもらおうというものです。

もう一つは「出会い創出イベント支援事業」であり、縁結び登録団体で組織する実行委員会が婚活イベントを開催し、創作体験等を織り交ぜながら、男女の出会いの機会を増やそうとするものです。

卯目 成果はどうなっているのか。

市民福祉部長 実施結果と成果について、縁結び活動事業では、27年度に登録された縁結び実施団体は21団体で、縁結びさんは26名となっています。27年度末の縁結び希望登録者は男性40名、女性17名で、登録者を集めた小イベントや交流会を5回実施したところです。

28年度は11月末の登録者は、男性52名、女性24名と増加し、小イベン



婚活イベント会議の様子

ト2回、1対1のお見合いを6組実施したが成婚には至っていません。

27年度における出会い創出イベント支援事業では、セミナーを2回、イベントを4回開催し、カップル成立が17組で、その内の1組が今年の9月に結婚しました。

卯目 問題点や今後の進め方をどのように考えているか。

市民福祉部長 問題は、カップルは成立するものの、様々な理由から自然消滅してしまうカップルが多いことです。今後は、付き合いを始めた後のフォローアップや、デート講座などの開催も検討する必要がありますと考えています。



平野時夫 議員

大型金属性粗大・小型家電ごみについて

平野 公共施設に小型家電回収ボックスを設置する考えはないか。

市民福祉部理事 県内では6つの自治体で設置されており、27年度は、福井市10カ所、0.7トン、坂井市8カ所、6トン、その他一斉回収で26トン、本市は年一回の一斉回収量が83トンと圧倒的に多く、このまま継続していきたいと考えています。

平野 大型金属性粗大ごみ回収時に分類指定するなど改善すべきではないか。

市民福祉部理事 排出方法など、市民への周知を徹底し、より効率的な回収方法を検討したいと考えています。

回収方法を検討したいと考えています。

平野 「あわらし市資源ごみ回収センター(仮称)」を設置する考えはないか。

市民福祉部理事 環境教育普及の一環として、現在の資源回収事業を継続したいと考えています。

平野 「あわらし市の0歳から3歳未満児のB型肝炎ワクチン接種状況は把握しているのか。

市民福祉部理事 12月1日現在544人、定期接種前に任意接種を受けた人数は1人、1歳から3歳未満児の数は現時点では把握していません。10月1日以降に1回目の接種を受けた人数は、対象者86人中76人です。接種率100%目標に、定期未接種児の保護者には電話等で接種勧奨を行っているところです。

平野 本年3月31日までに生まれた乳児から

3歳未満児までの任意接種に対する公費助成を拡大する考えはないか。

市長 1歳までの接種勧奨に注力したいと考えています。

ヘルプカードの導入

平野 ヘルプカードについてはどう認識しているか。

市長 義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病、あるいは妊娠初期の人達が、援助や配慮を必要としていることを周囲に知らせることを目的とした「ヘルプマーク」を記載したカードのことであり、互いを思いやる心が醸成されることが期待できます。

平野 導入する考えはないか。

市長 県単位での普及が不可欠であり、機会を捉えながら知事に進言したいと考えています。



山川知一郎 議員

子育て支援の強化を

山川 人口減少対策として子育て支援強化が必要である。特に中学校のスクールバスの無料化は「義務教育は無償とする」という憲法26条の規定から言っても当然であり、年間700万円あれば実施する事ができる。

また、中学卒業までの医療費助成を行っているが、1カ月500円(入院は2千円)の自己負担を廃止して窓口で無料にすべき。これも年間700万円あれば実施できる。新幹線開通に向けてのまちづくりよりも子育て優先の市政を求める。

教育部長 中学校のスクールバスは、市内全部をカバーする8路線で年間を通じて運行しており、手厚いものとなっています。

永平寺町は給食費を無料としています。あわらし市も5歳児の子ども園料を無料にするなど、保護者の負担軽減に努めており、スクールバスや給食費の無料化は考えていません。

市民福祉部長 県が平成30年度を目前に、子どもの医療費を窓口で無料にすることを検討しており、これが実現すれば、併せて自己負担の廃止も視野に検討したいと考えています。



あわらしスクールバス

インシシ対策

山川 インシシの被害地域が拡大している。「監視カメラ」の設置も結構だが、侵入防止柵の設置や維持管理に対する助成を拡充して欲しい」と言う農家の声を聞く。

国・県に助成を抜本的に強化するよう求めるべきではないか。

経済産業部長 カメラは捕獲を増やすために有効と考えています。固定柵に対する助成については県に対して、引き続き求めていきます。

議会運営委員会

行政視察報告

当委員会は、岐阜県可児市で「議会改革と議会の活性化の取組について」、

飛騨市で「議会改革の取り組みについて」、「政務活動費について」の視察を行いました。

可児市議会は、平成23年8月に市議会の現状を調査するためにアンケートを実施し、その結果、

「市議会に関心がない」63.7%など、議会改革を進める必要性を認識したそうです。

議会改革の主な取り組みは、議員の資質向上を図るため、名城大学都市情報学部の教授セミナーに参加し、地方自治や時事問題の知見を深めていることでした。

次に、予算決算委員会について、決算審査の中で課題・問題があった場合は、次年度の予算編成

に活かすよう市長へ提言し、市長はその提言を受け、当初予算説明の冒頭に提言を反映した結果を報告しています。

可児市議会は、気づき・心らめきを行動に移し、相互理解しながら実施し、条例・規則など規定していくことを基本に取り組んでいました。

このような中、平成28年1月に2回目のアンケートを実施した結果、議会改革について、「進んでいる」が31.4%となり、取り組みに一定の効果が現れているとのことでした。

飛騨市議会の議会改革の主な取り組みは、議員定数見直しがありました。平成16年2月1日に2町2村が合併し、議員定数は26名で発足しました。平成19年3月定例会で17名とする条例改正案を議決し、さらに、平成26年



可児市役所

3月定例会で、発議により議員定数条例の一部改正を議決し、定数14名となりました。議会構成、委員会構成の限界を考慮する必要があるとのことでした。

次に、政務活動費について、年額12万円で四半期ごとの後払い制を導入しています。実績をみると調査研究費、研修費に充てている割合が多く、交付を受けていない議員もいます。

総務文教常任委員会

行政視察報告

当委員会は、奈良県宇陀市で「廃校施設活用について」、桜井市で「公共施設等総合管理計画について」の視察研修を行いました。

宇陀市室生地域にある文化芸術活動体験交流施設「ふるさと元気村」は廃校となった旧田口小学校の跡地を活用した施設で、文化芸術（アート）



ふるさと元気村

をテーマに交流活動を行っています。

跡地活用検討委員会では、地元の思いや活性化に対する熱意を反映できつつ、「実行力をもった」事業計画とすることを目標に慎重に検討を行い、整備が進められました。

なお、ふるさと元気村は地元住民で組織された田口小学校跡地活用委員会が指定管理者となっています。

公設民営型の施設として、行政が整備し、地元が施設の管理を行うことは、住民と行政の協働を進めることとなります。

地域がより能動的かつ主体的に事業経営することによって、住民参加型の地域づくりの意識を高め、地域全体を活性化させるといったメリットもあります。

桜井市の公共施設等総合管理計画は、本年3月に策定され、試行錯誤しながら計画を進めている状況とのことです。

桜井市独自の公共施設等の管理に関する基本的な方針としては、

- ① 全庁的な推進体制の強化
- ② 情報の一元管理
- ③ 職員の意識啓発と専門技術の向上
- ④ 様々の主体との連携体制の構築
- ⑤ 民間活用の効果的な活用
- ⑥ 議会や市民との情報共有を掲げています。

あわら市も本年8月から公共施設等総合管理計画の策定に向け調査を始めたが、市民会館等の文化施設をはじめ公営住宅など老朽化した公共施設を多く抱えていますので、改めてその必要性を感じました。

厚生経済常任委員会

行政視察報告

当委員会は、愛知県碧南市で「あおいパーク（農業活性化センター）」について、岐阜県各務原市で「中山道鶴沼宿再生整備事業について」の視察研修を行いました。

農業活性化センターあおいパークは、農業と食と健康をテーマに、農業と消費者を結ぶ体験型交流施設として、碧南市政50周年の年でもある平成10年度に開設しました。

産直市や体験農園、レストラン等があり、市内外を問わず来園者があるそうです。開設当初は、来園者数10万人を見込んでいたそうですが、実際は66万人の人が訪れ、非常にうれしい驚きがあったとのことでした。5年目以降は、来園者数が毎年100万人を超え、現在



あおいパーク

まで延べ1千600万人以上が来園されています。

産直市は名古屋市を含めた市外からの来客が多く、朝9時にオープンして、昼頃には品物が無くなるような状況でした。体験農園については、都会からの子ども連れの家族が多いとのことでした。

各務原市の唯一の宿場町である中山道鶴沼宿は、平成18年度より社会資本整備総合交付金を活用し、中山道鶴沼宿町屋館の修復等、景観重要建造物の保存改修を行っています。さらに、水路の復元により、中山道鶴沼宿は往時をしのばせる宿場町として再生していました。

一方、沿線自治体においては、当事業の説明を受け、住民の意向を行政に伝えるために「中山道鶴沼宿まちづくりの会」を設立し、様々な提言をしました。また、各種イベントを開催しながら、近隣自治体との交流も深め、人々が楽しめるまちづくりを継続しています。

また、当地区は各務原市景観計画において、重点風景地区に位置付けられ、平成19年8月に景観法に基づき地区独自の景観計画が施行されています。住民の協力もあり、景観が維持されているとのことでした。

請願・陳情 意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について

「要旨」

日本の税制は、家族従業者の働き分を必要経費として認めていない。家族従業者の人権保障の基礎をつくるために、政府に意見書の提出を求める。

「提出者」

福井県商工団体連合会 会長 原田 真依

「結果」

継続審査

●政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

「要旨」

平成25年度までは農業者戸別所得補償制度がとられ、平成26年度からは経営所得安定対策に切り替わったが、平成30年産米から廃止されようとしている。農業者戸別所得補償制度の復活を求める。

「提出者」

福井県農民連 会長 玉村 正夫

「結果」

不採択

「不採択理由」

国において米の直接支払交付金に代わる新しい政策など、平成30年以降の対策の検討が成されており、注視していく必要がある。

●教員の働き方の改善に関する陳情書

「要旨」

①生徒減による教員の自然減を上回る純減を行うのではなく、学校現場の教職員増につながる「教職員定数改善計画」を策定すること。
②教員の時間外労働の実態に見合ったものに教職調整額を増額すること、若しくは、教員に時間外手当を支給する制度に改めること。

「提出者」

福井の教育をよくする県民会議
代表委員 松浦 義則（福井大学名誉教授）

「結果」

継続審査

事務局長 善里 嶺信（福井県高等学校退職教職員会長）
事務局長 鈴木 孝典（福井県高等学校教職員組合執行委員長）

議会トピックス

あわら市議会、加賀市議会が共に陳情



近畿地方整備局



北陸地方整備局

あわら市議会、加賀市議会が共に「国道8号の整備促進について」の要望活動を実施いたしました。

両市議会合わせて12名が、10月31日に近畿地方整備局及び福井河川国道事務所を、11月4日に北陸地方整備局及び金沢河川国道事務所を訪問いたしました。

平成28年10月14日に発行いたしました「市議会だより」第50号の記述に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

訂正箇所 市議会だより第50号 2ページ 平成28年度一般会計補正予算（第3号）

【誤】 「574万4千円を増額」

【正】 「5,744万円を増額」

平成28年12月 第85回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 -…欠席等 ※議長は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	仁佐一三	山本篤	平野時夫	毛利純雄	吉田太一	森之嗣	杉本隆洋	山田重喜	三上薫	八木秀雄	菅原幸信	山川知一郎	北島登	向山信博	坪田正武	卯目ひろみ	山川豊	杉田剛
市	平成27年度あわら市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	x	○	○	x	○	○	○	○	○	○	x	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度あわら市農業集落排水事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
	平成27年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
提 出 議 案	平成27年度あわら市水道財産区水道事業会計剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度あわら市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度あわら市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度あわら市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度あわら市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度あわら市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度あわら市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	平成28年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市空家等対策協議会条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市放課後子どもクラブ条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
市 会	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市景観条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	工事請負変更契約の締結について(あわら市庁舎耐震補強(建築)工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	あわら市議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	/	○	○	○	
	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について	継続審査																		
政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願	不採択	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	○	x	x	/	x	x	x	
教職員の働き方の改善に関する陳情	継続審査																			

討論 平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定について

1点目は、セントピアあわらの決算書が提出されているが、本決算が妥当かどうかは指定管理者の決算を監査しなければ確認できない。特に支出の中に管理費が計上されているが、これは当該業者の内部規定に基づくものであって、根拠が明らかでない。

2点目は、国から自衛官募集事務交付金4万円を受け入れて自衛官募集事務を行っている。昨年政府により、自衛隊は海外での武力行使が可能となったが、これは憲法9条違反である。

3点目は、義務教育は無償と憲法26条で規定されているので、中学校のスクールバス利用料や学校給食費も無料とすべきである。

4点目は、財政が厳しい中、市民の暮らしや子育てを最優先にすべきであり、新幹線開業に向けたまちづくり等、不要不急の事業はやめるべきである。

5点目は、加賀市とあわら市の議員連盟の旅費は違法である。今回の件については誤りとのことで、全額返納することは評価できるが、当支出を計上している今回の決算は認定することができない。



セントピアあわらについて、昨年も指摘したが、指定管理者への応募4社のうち、当該業者への指定管理決定の決め手となったものは、純利益の50%をあわら市へ還元するという申し入れによるものである。

昨年も、収支報告書の歳出の部における管理費支出について、いくつか指摘し、後の監査において、広告宣伝費の支出額の中に、本社の一部が含まれていたことなどが明るみに出てきた。今回も、業者側の内部規定による管理費支出が計上されている。担当課の決算審査においては、「まだセントピアあわらの監査を行っていない」とのことで、この点が明らかになっていない以上、決算の認定には反対である。

また、指定管理応募の条件の中に、各種観光事業などに協力をしていくとともに、あわら温泉の活性化に努める等々の提案をしていたが、2年経っても、これといった事業展開をしていない。



討論 政府への「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願



米価が生産費を大きく下回る水準に下落し、多くの稲作農家が米を作り続けることができない状況が生まれている。また、安い米の定着によって、米の流通業者の経営も追い込まれている。このような中で、政府は農地を集積し、大規模効率化を図ろうとしているが、この低米価では、規模拡大した集落営農や法人ほど赤字が拡大し、経営危機に陥りかねない。

平成25年度までは農業者戸別所得補償制度がとられ、平成26年度からは経営所得安定対策に切り替わり、稲作農家の離農が加速し、地域が一層疲弊している。当制度も平成30年産米から廃止されようとしている。

経営を下支えする政策を確立することが必要だと考える。

議会日誌

おもな会議のみ掲載

10月3日	広報編集特別委員会
4日	決算審査特別委員会 (以下7日、11日、21日開催)
12日	総務文教常任委員会 行政視察(〜13日)
19日	厚生経済常任委員会 行政視察(〜13日)
24日	議会活性化特別委員会 議会運営委員会
26日	議会報告会(〜28日)(市内12会場)
31日	近畿地方整備局・ 福井河川国道事務所要望活動
11月1日	議会運営委員会(行政視察(〜2日))
4日	北陸地方整備局・ 金沢河川国道事務所要望活動
24日	議会運営委員会
25日	全員協議会
12月2日	議会運営委員会 第85回議会定例会 開会
9日	議会活性化特別委員会 第85回議会定例会 一般質問 広報編集特別委員会 (以下21日、26日開催)
12日	総務文教常任委員会(〜13日)
14日	厚生経済常任委員会(〜15日)
20日	議会運営委員会
21日	全員協議会 第85回議会定例会 閉会

ふると探訪

「刈安山」

刈安山(547.7m)は、あわら市と加賀市にまたがり、雄大なスケールの森林自然公園となっています。

あわら市最高峰の水坪山(630m)につながる稜線には木肌の美しいブナの原生林が見られるなど、四季を通じて豊かな自然を満喫することができます。麓の権世市野々から7キロのドライブコースを登ると、山頂に白山比咩神社があり、展望台やトイレが整備され、公園となっています。眺望も抜群で、東に霊峰白山、西に日本海、南に福井平野と、大パノラマが広がっており、山頂から山中温泉に通じる林道も整備されています。

この公園の管理は、劔岳文化共栄会が行っており、毎年4月20日に山開きを行い、10月20日に白山比咩神社の例祭を行って閉山としています。山頂の売店では、4月の山開きから10月の閉山までの土・日・祝日、地元特産の「手打ちそば」を楽しむことができます。また、5月には地元住民が中心となって、「森のコンサート」が開かれ、市内外から多くの市民が参加しています。

現在、刈安山から丸岡町竹田に通じる林道工事が進められており、2年後に完成予定ですが、完成すれば、林業振興とともに、観光道路としても大いに期待できます。

一人でも多くの市民の皆さんが、刈安山を訪れることをお勧めします。

(山川 知一郎)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

昨年、大きな被害をもたらしました。また、高齢者の交通事故や幼い子供への虐待など悲しい事故や事件ばかりでした。11月に起きた避難先でのいじめ、そして12月に起きた行方不明の幼い子の事など、頭をよぎったのは悲観的な事ばかりでしたが、東日本の災害で避難した少年の「僕は死ぬのをやめた」との言葉に「一筋の光を見たような気がしました。また、あの寒く暗い山林で21時間もの空白を経て、泥まみれのあどけない顔を見た時、このような奇跡も起こるのだと胸が熱くなりました。

今年こそ明るい話題の多い一年であってほしいと心から祈りたいものです。

(仁佐)

編集・発行責任者

議長 長坪 田正 武

市議会広報編集特別委員会

委員長 三上 一 薫

副委員長 吉田 太 三

委員 仁佐 一 夫

委員 平野 時 三

委員 毛野 純 夫

委員 山利 純 一

委員 卯川 知 郎

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、市議会だよりを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

